

ウェルビーイング指標④ 支え、紡ぎ・広げ、高める“つながり”指標

自分自身と社会を結ぶ、“つながり”の実感

指標のうち、「**つながり指標**」は、自分自身を起点として、ウェルビーイングを支え、紡ぎ・広げ、高める社会的関係・環境を捉えようとするもので、**家族、友人、職場・学校等、地域、富山県の5つの区分**があります。（※社会的なつながりを全て捉えようとする、これにとどまらず、日本～世界～地球・・・と延々広がりますが、指標を県政に活かすという前提、また、実感を問うものである等を踏まえ、この5つで整理しています。）

花に見立てた図で言うと、**生活の基盤となる富山県とのつながりを「土壌」**で、**自分自身と社会・外の世界を結び、個々の実感を豊かにする各つながりを「葉」**で表現しています。

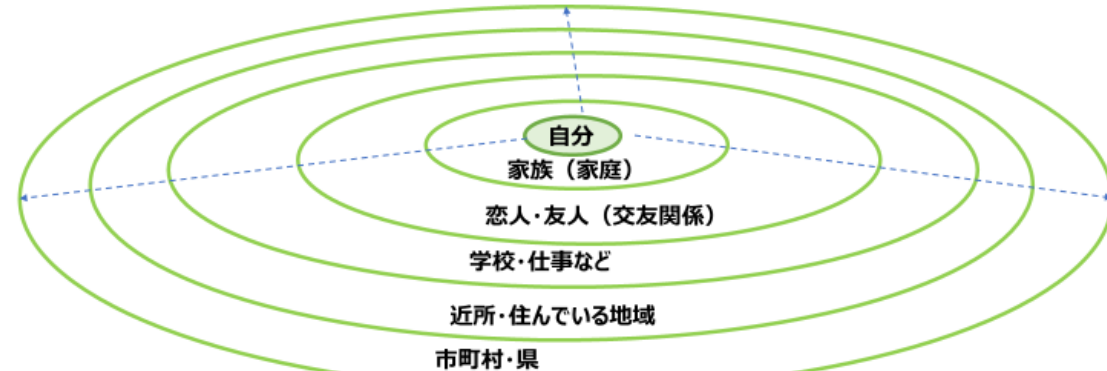
指標では、つながりの状態を、客観的な面（例えば、人数や付き合いの頻度、地域活動への参加回数など）の多寡ではなく、**あくまでそれぞれが良好な状態だと実感できているか、そこがポイントだと考え、主観的な問いを複数設定しています。**このため、例えば、他者との付き合いの頻度が多くても、**過干渉やしがらみと感じ、本人にとって良い“つながり”と感じられなければ、ウェルビーイングの実感の程度は下がる**ことになります。この指標はそういう点にも気づくことができるのではと考えています。こうした視点も持ちながら、個のウェルビーイング向上につながる社会のウェルビーイングにもアプローチしていきたいと考えています。

県民意識調査の際、意識した観点の1つ

自分を起点とする社会との「**つながり**」を意識

“一人ひとり”のウェルビーイングを支え、高めることができる**社会**に。
社会のウェルビーイングを支え、高めることができる**“一人ひとり”**に。

「個のウェルビーイング」に着目しつつ、
一人ひとりの目線からの
「社会のウェルビーイング」にもアプローチ



つながり② 支える 紡ぐ・広げる 高める

友人とのつながり



つながり① 支える 紡ぐ・広げる 高める

家族とのつながり



つながり④ 支える 紡ぐ・広げる 高める

地域とのつながり



つながり③ 支える 紡ぐ・広げる 高める

職場・学校等とのつながり

在籍・参加している各種団体・グループ等含む



つながり⑤ 支える 紡ぐ・広げる 高める

富山県とのつながり

県民意識調査結果

富山県ウェルビーイング指標